

# ほんわ館だより



第109号

令和 3年 10月発行  
中山町立図書館 ほんわ館  
中山町大字長崎8038-9  
TEL : 023-662-6688

開館時間

9:00~19:00

10月の休館日

4・11・18・25日

今月のおはなし会は

10月23日(土)

スペシャルになります♪

## 秋晴れのもと

「本日は、さわやかな秋晴れのもと……」秋の運動会などでよく使われるあいさつです。秋晴れと言えど空気が澄み渡り、空いっぱいに青空が広がるイメージがあります。これは、夏の間、日本上空に居座っていた湿った太平洋高気圧が弱まり、西からの移動性高気圧によって大気が安定するとともに、空気が乾燥して空高くまで澄んで見えるためです。

(『散歩が楽しくなる 空の手帳』森田正道/監修 東京書籍 【451/サ】)

秋晴れの中でも、10月10日は気象の特異日と言われる日の一つで、全国的に晴れの日になることが多いとされています。1964年に開催された前回の東京オリンピックでは、この日に合わせて開会式が行なわれたのは有名な話です。

いつもの年なら秋晴れのもと賑やかに芋煮会を楽しむところですが、今年はコロナ禍で思うに任せません。せめて、野山を散策して秋の景色を楽しむのはいかがでしょうか。山頂ではもう紅葉が始まっています。

半面、移ろいやすいのも秋の空。そんな日は屋内での読書をお勧めします。10月27日からは読書週間がはじまります。

## 『ほんわ館まつり2021』が開催されます

おしらせ



日時: 10月23日(土)

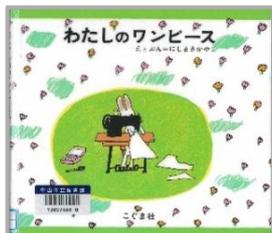
ほんわかっぱ一座による「スペシャルおはなし会」など楽しい催し物があります。詳しい内容は館内ポスターやチラシ、ほんわ館ホームページでお知らせします。お楽しみに!!



第78走者

## 愛読書リレー

今月のランナー鈴木 友子さん(金沢)です!



『わたしのワンピース』

にしまきかやこ えとぶん

こぐま社 【E/ニ】

娘に読ませたいとそろえた本を、今は孫が私に読み聞かせをしてくれるようになりました。その中でも『わたしのワンピース』という絵本が印象に残っています。

うさぎさんが空から落ちてきた白いきれでミシンを使ってワンピースを作りました。ワンピースはいろいろな柄に変化します。お花畑を散歩すると花もよう、雨が降ると水玉もよう、草の実のにおいがすると草の実もよう、小鳥が草の実食べにきて小鳥のもよう、そして虹のもよう、夕焼けのもよう、星のもようになっちゃっておやすみなさい……



ララン、ロロン、私にあうかしら…… 孫は何回も読み返し、自分なりにワンピースのもようを考え、紙芝居を作って私たちを楽しませてくれました。一冊の本から広がる心の豊かさ、本当にすばらしいと感じます。

♪ありがとうございました!次のランナーは 横尾 深雪さん(あおぼ)です!♪



ほんわ館

# ベストリーダー Best Reader

今月はこれまでに貸出が多かった本を集めてご紹介します  
人気のため予約が続いて諦めてしまっていた本や、気になったけれど読み忘れていた本などありませんか？ お気に入りの一冊を見つけてぜひ読んでみてください

『火花』  
又吉 直樹/著  
文藝春秋  
【913.6/マ】  
開館以来一番  
借りられた本  
利用回数  
140回！

『臨床真理』  
袖月 裕子/著  
宝島社  
【913.6/ユ】

他にもたくさん  
ご用意しています

『マスカレード・ホテル』  
東野 圭吾/著  
集英社  
【913.6/ヒ】

『祈りの幕が下りる時』  
東野 圭吾/著  
講談社  
【913.6/ヒ】

『ナミヤ雑貨店の奇蹟』  
東野 圭吾/著  
角川書店  
【913.6/ヒ】

## 新しく入った本

ここに掲載されている本は一部です



『東京オリンピック2020 特別報道写真集』

共同通信社 【780.6/ト】

あの感動をもう一度!!



『「学校に行きたくない」と子供が言ったとき親ができること』

石井 志昂/著 ポプラ社 【371.4/イ】



『人新世の「資本論」』

斎藤 幸平/著  
集英社 【331.6/サ】



『てがでかこちゃん』

谷川 千佳/絵  
白石 一文/作  
岩崎書店 【E/タ】

こんな時期だからこそ本の中で旅してみませんか？  
まずはこの2冊!!

みんな違って当たり前。  
多様性をテーマにした絵本です



『世にも奇妙な博物館』

丹治 俊樹/著  
みらいパブリッシング  
【069.0/タ】



『名城を訪ねる旅 東日本編』

東京日本通信社 【291.0/メ】